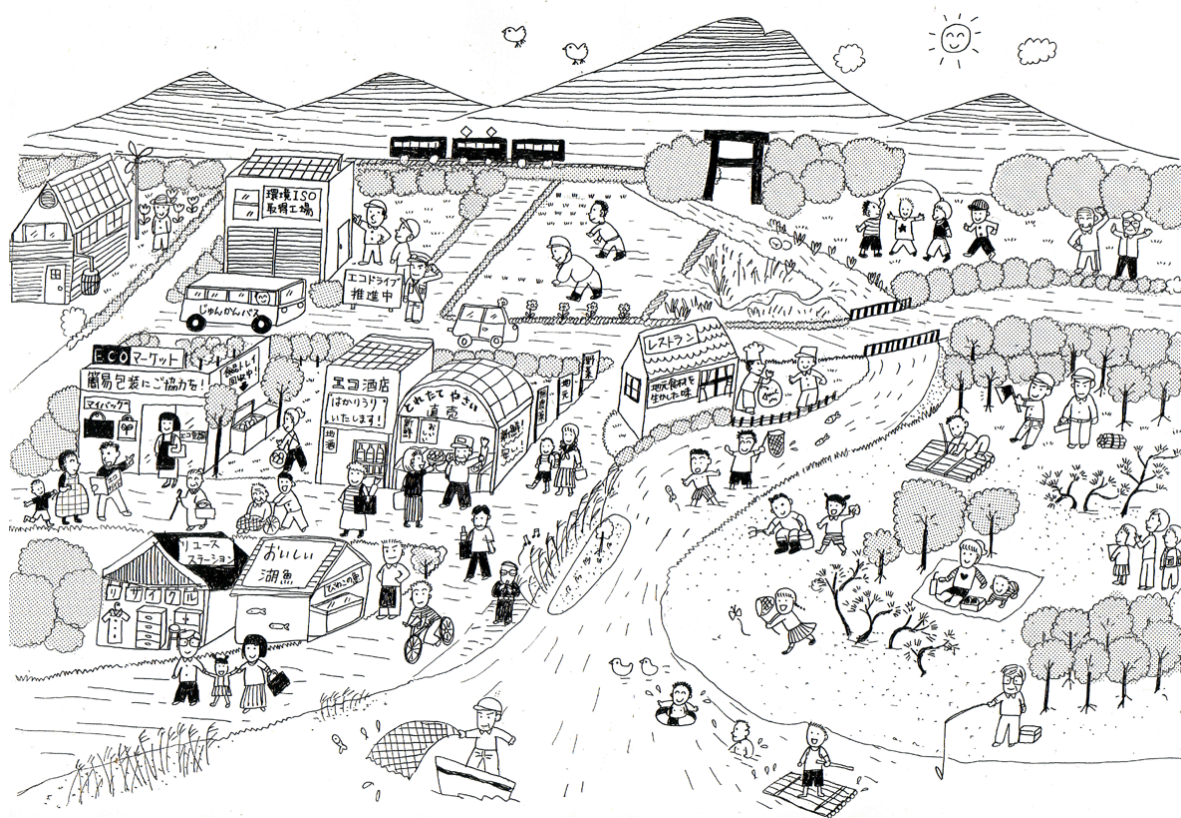


環境基本計画推進会議

「水と緑・安心の野洲」

平成 25 年度 通常総会 議案書



平成 25 年 4 月 25 日(木) 14:00～16:00

市民活動支援センター(図書館) 大ホール

環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」

平成 25 年度 通常総会 次第

平成 25 年 4 月 25 日（木）14：00～

市民活動支援センター 大ホール

1、開 会

2、挨 拶

3、御来賓挨拶

4、講演「環境基本計画のこれまでの取り組みについて」

滋賀県立大学 環境科学部 准教授 近藤 隆二郎 様

5、議 事

第 1 号議案 役員交代について

第 2 号議案 平成 24 年度 事業報告について

第 3 号議案 平成 24 年度 収支決算について

第 4 号議案 平成 25 年度 事業計画（案）について

第 5 号議案 平成 25 年度 予算（案）について

報告事案 愛称の決定について

6、その他

7、閉 会

第 1 号議案

役員（運営委員）の選出（案）

環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」規約の第 6 条および第 7 条により、各部会より推薦された会員（以下の者）を選出する。

○役員交代

エコ資源部会

新富 章正 （旧）

中根 隆男 （新）

○新規

環境教育（自然部会所属）

政本 幸三

平成 24 年度 事業報告

各部会の活動実績

平成 24 年度も引き続き昨年度の活動を継続して行っていく中で、関係団体・組織との連携や活動の積極的な情報発信を通じて、プロジェクトの組織拡充と活動の参加を呼びかけた。結果、学習会や啓発イベントを計 149 回開催し、延べ約 4,900 人の市民の参加を得ることができた。

さらに平成 23 年度から 24 年度にかけて、行政において環境基本計画の中間見直しが実施されており、より市民が参加できる仕組みの構築を検討してきた。その一環として、環境基本計画関連の活動を統一的に発信し、市民に親しみを持ってもらうため、愛称を募集した。

自然部会は、県のマザーレイク 21 計画との連携を図るなか、里山から川、緑地、田畑、そしてびわ湖までの一連の自然環境の保全をめざした活動を展開した。さらに活動主体が中心となり、県の「新しい公共支援事業」に採択され、多くの市民に対してプロジェクトの趣旨を普及啓発するとともに、自然環境を軸とした地元産業の活性化を呼びかけた。

エコ資源部会は、環境負荷の少ない循環型社会の構築に向けた仕組みづくりを行うため、市民が楽しみながら参加できるプロジェクトの実践（省エネ学習・生ごみ資源化・廃食油の利用促進・リユースの促進・エコな店ガイドブック）を進め、啓発講座の拡充に努めた。

まち・くらし部会は、一人ひとりが身近な暮らしで実践できる環境に配慮した行動（レジ袋の使用削減、エコドライブ）を普及させる取り組みを行った。また事業者や他の関係団体と連携することを目的に、活動の現状を取りまとめ、情報発信の仕組みを検討した。

運営委員会の開催

- ・ 第 1 回（平成 24 年 4 月） 総会の内容について、等
- ・ 第 2 回（平成 24 年 6 月） 活動報告、愛称について、等
- ・ 第 3 回（平成 24 年 11 月） 活動の状況、予算執行状況について、等
- ・ 第 4 回（平成 25 年 1 月） 活動実績について、等
- ・ 第 5 回（平成 25 年 2 月） 次年度計画案について、等
- ・ 第 6 回（平成 25 年 3 月） 決算について、総会について、等

情報発信

- ・ ニュースレター 年間 3 回発行
- ・ 地域 SNS「やすまる」 年間 21 回更新

平成 24 年度 プロジェクト活動（学習会・啓発イベント）の実績

自然分野

	概要	回数	人数	プロジェクト名
川	家棟川エコ遊覧(砂浜学習会含む)	24	684	「おらが川」人が楽しめるきれいな川づくり
	ホテルの住める川づくり	10	50	
	流域ネットワークづくり(「水フォーラム」の開催)	1	53	
	家棟川・びわ湖清掃活動	15	119	
	小計	50	906	
びわ湖	砂浜学習会	1	50	琵琶湖を身近なものにしよう 葦地帯をみんなで増やそう
	びわ湖に親しむイベント(あやめ浜まつり)	1	200	
	漁民の森づくり事業	1	189	
	びわ湖学習会・苗ポットづくり体験	2	256	
	ヨシ植えイベント	1	192	
	小計	6	887	
緑	河畔林保全活動	23	255	河畔林の再生 まちなかの緑ボリュームアップ大作戦 鎮守の森再生
	野洲川自然の森調査報告会	1	45	
	野洲川自然の森観察会	1	34	
	樹木管理講習会	1	40	
	小計	26	374	
農業	環境保全型農業研修会	2	80	環境保全型農業推進計画
	魚のゆりかご水田米 啓発	2	320	
	小計	4	400	
里山	里山保全活動	22	235	野洲の里山の自然に触れよう、知ろう
	子どもや市民が里山に親しむ活動	4	273	
	森林ボランティア講座(「森づくり塾」4回連続講座)	4	87	
	小計	30	595	

自然分野 小計 116 3,162

ごみ・資源分野

	概要	回数	人数	プロジェクト名
環境学習	地球温暖化に関する学習会	2	40	みんなで進める環境学習
	リサイクルペーパーアート出前講座	8	140	
	小計	10	180	
廃食油	エコキャンドルづくり出前講座	13	300	天ぷら油を捨てず!エネルギー(BDF)化しよう
	小計	13	300	
リユース	リユースセンターでの物品無償譲渡会	2	48	お得で楽しいリユースステーションをつくろう
	小計	2	48	
エコな店	グリーン購入学習会	1	30	「こんなエコな店あるよ」ガイドブック作成事業
	小計	1	30	

ごみ・資源分野 小計 26 558

まち・くらし分野

	概要	回数	人数	プロジェクト名
ごみ減らし	出前講座(人形劇、エコダンス)	3	335	ごみを出さない売り方・買い方が広がるまち
	マイバッグ持参・レジ袋削減啓発キャンペーン	3	35	
	小計	6	370	
エコドライブ	エコドライブ講習会			一人ひとりが自動車社会見直す「エコドライブ活動」
	(応募がなかったため未実施)			
	小計	0	0	

まち・くらし分野 小計 6 370

つながりプロジェクト

	概要	回数	人数	プロジェクト名
	えこっちシールキャンペーン	2	278枚	山・川・里・湖の「つながり」再生プロジェクト
	収穫祭	1	800	
	小計	1	800	

【合算】

合計	149	4,890
----	-----	-------

・ 平成 23 年度 220 1,775
 ・ 平成 22 年度 220 1,600
 ・ 平成 21 年度 0 0,000
 ・ 平成 20 年度 220 1,333
 ・ 平成 19 年度 240 1,000
 ・ 平成 18 年度 140 1,000

自然分野 事業報告

1. プロジェクト 『おらが川』 人が親しめるきれいな川づくり

- ① **家棟川エコ遊覧の開催**（4月～11月 25回実施 延べ733人参加）
武庫川女子大学付属・中・高校が一泊して乗船し、あやめ浜でしじみ掘みの体験をした。東京のNGO、名古屋などからも参加があり、また、ガールスカウト、JC、老人会、地域の子ども会、弁護士会などの参加もあった。
- ② **ホタルの住める川づくり**（10回 50名）
市内9ヶ所でホタルの幼虫を飼育し川に放流したが、気候の影響からか極めて不十分な結果となった。幼虫の放流に関しては地域の子どもたちで行った。堤と六条の自治会では、川に砂利を入れて、ホタルの住める川づくりをした。
- ③ **流域ネットワークづくり**（水フォーラムの開催 平成24年7月1日）
家棟川生態回廊再生調査の結果について、琵琶湖環境科学研究センター研究員の佐藤祐一氏より報告いただき、またTOTO株式会社滋賀第二工場の工場長からは、企業のCSRの取り組みとNPO法人家棟川流域観光船との協働について講演いただいた。本事業は毎年の行事として定着してきている。
- ④ **河川清掃活動**（年間5回 104名〔船で〕 その他10回 15名）
TOTO株式会社の若い社員が参加され、多くのゴミを回収することができた。河川清掃するなか、各自治会ごとでそれぞれの川を守っていくようにしなければならないと感じた。
- ⑤ **生態回廊の再生**
琵琶湖環境科学研究センターの協力のもと、家棟川流域で生態調査を実施。琵琶湖河川事務所、県、市、水資源機構などと共同で舟での調査を行うことができた。また6匹の遡上が確認できたビワマスを保護するため、地元自治会事務所に捕獲禁止のポスターを張り出した。
- ⑥ **活動の評価**
NPO法人家棟川流域観光船が日本水環境学会関西支部から「関西の水環境の保全と創造に寄与する優れた活動」と認められ表彰された。

2. プロジェクト 「びわ湖を身近なものにしよう」

- ① **家棟川エコ遊覧・湖魚の伝統食・砂浜学習会の開催**（平成24年5月19日 50人参加）
びわ湖の漁師から昔と今のびわ湖の環境の違いについて学習した。また、艦こぎ舟でヨシやマコモを見ながらゆったりした時間の流れを楽しんでいただき、参加者には大変喜んでいただけた。
昼食には、「びわマスの煮付け・アメノイオごはん・えび豆・たてぼし豆・あゆ煮・ふな寿司・ハス寿司・シジミの味噌汁」と、びわ湖の食文化と生態系についても学んだ。

② **あやめ浜まつりの開催**（平成 24 年 8 月 20 日 200 人参加）

びわ湖の現状や湖魚の伝統食を多くの方に知ってもらい、水環境の保全を啓発するために菖蒲浜でびわ湖に親しむシジミ採り、クルージングなどのイベント体験や湖魚の伝統食の試食、浜の清掃を行った。

③ **漁民の森づくり事業の実施**（平成 25 年 3 月 3 日 189 人参加）

びわ湖の水資源を守るために、漁業関係者や生産森林組合と協力し、団体・企業などの参加のもと、水源となる山（大篠原地先）の整備を実施した。

3. プロジェクト 「ヨシ地帯をみんなで増やそう」

① **びわ湖の学習会とヨシ苗づくりの実施**（中主小 5 年生 128 人）

淡海環境保全財団と共催し、中主小学校 5 年生を対象にした環境学習の一環として、びわ湖とヨシについての学習会を行い、ヨシ笛づくり体験などを行った。

② **ヨシの植栽イベントの開催**（平成 24 年 11 月 11 日 192 人参加）

小雨の降るなか、ヨシの植栽を行う市民参加型イベントを開催し、ポット苗 1,426 株、マット苗 60 枚、計 700 m²の植栽を行った。そのなかで守山のヨシ笛アンサンブルによるヨシ笛コンサートもあり大変好評を得た。またあやめ浜の松林の保全を水資源機構と漁業組合とで行った。

③ **県事業との連携**

現在、ヨシ植栽を行っている東側において、滋賀県が自然再生事業（ヨシ群落自然再生事業）を実施している。この事業は、平成 23～29 年度において実施され、県や市、専門家と協議をしながらヨシ群落の再生に取り組んでいく。

4. プロジェクト 「まちなかの緑ボリュームアップ大作戦」 「河畔林の再生」「鎮守の森再生」

① 8 月を除き、毎月 1 回検討会議を開いて協議しつつ、課題の推進を行った。

（述べ 11 回開催 72 名参加）

② 野洲川の市三宅地先の河辺林創生については、雨や雪の日を除いて毎月第 2 月曜と第 3 土曜日の午前の月 2 回、1 月からは第 4 土曜日も加えて月 3 回、竹切りや草刈作業、実生の移植を行った。（延べ 23 回 255 名参加）

③ 「野洲川北流跡自然林育成協議会」を、推進委員会、市内緑化市民組織「やす緑のひろば」、県立大野間准教授、県立大学生「エコキャンパスプロジェクト」、中西樹木医、野洲市、市三宅、竹生、比江の自治会代表で立上げ、滋賀県の新しい公共事業に応募し採択された。助成内容は学生が中心になって、自然林の生態調査に対してである。1 年間の調査結果をふまえて、3 月 3 日に市の図書館ホールで、県立大学生による植物と鳥の生態調査の報告会を開催した。この活動は後継者不足に悩むボランティア活動に、次世代を担う若い学生が参加するという、他の推進委員会活動

では見られない先進的な特徴を有している。この調査結果について、現在野間准教授の指導の下に学生が調査報告書を作成している。また引続き 25 年度以降も昆虫などの生態調査を行うことになっており、推進委員会では応分の費用負担を考えている。(3 月 3 日 45 名参加)

- ④ 現在県有地である市三宅地先の「自然の森」が、県の新しい公共事業の助成をうけたことで、この自然林整備活動を正式に宣伝できることになったので、BBC の「キラりん滋賀」で放映され、滋賀県民に広く知られるようになってきた。
- ⑤ 昨年に引き続き、県立大の野間准教授を講師に招いて、自然林の観察会をおこなった。(34 名参加)
- ⑥ 「自然の森」の整備活動が進んできたが、竹のチップ材の中に生息するカブトムシの幼虫の観察を、北野小学校の生徒が行うように働きかけ、実施された。これは京都新聞でも報道された。なお、この場所が市内の小中学校の学習林や学校林として活用されるよう、市の教育委員会など各方面に働きかけつつある。
- ⑦ 前年度の 10 月 22 日に市民組織の「やす緑のひろば」を立ち上げたが、会員数が飛躍的に増加し、自然の森創生活動が活発に行われるようになった。(総会 12 名参加)
- ⑧ 昨年に引き続き 3 月中旬にコミセンきたので、樹木医の中西肇中西園材社長による樹木の管理と剪定の技術講習会を開催し、午前の講義に引続き午後は北野小学校側のヤマモモの剪定を実施した。このように講習会とセットで公共施設の樹木の剪定を行って、市民にも技術を身につけてもらいながら、他の図書館やさざなみホールなど公共施設の樹木を剪定する方法は、市役所に緑地課がなく、どの課にも市内緑化担当職員がいない状況では、一定の効果はあると言える。(40 名参加)

5. プロジェクト 「環境保全型農業推進計画」

① 環境保全型農業研修会

無農薬有機栽培や自然栽培(無施肥・無農薬栽培)の米づくりを行う研修会を開催し、環境保全型農業の普及啓発を行った。(述べ 2 回開催 80 名参加)

② 魚のゆりかご水田事業の啓発

魚道を整備し、びわ湖から遡上するフナやナマズなどを水田で育てることで、生態系に配慮した減農薬栽培を 4 地区(安治、須原、堤、菖蒲)で実施した。

- ・ 田植え・稲刈り体験の実施(述べ 200 名参加)
神戸市からの学生、東京からのグループ参加など、様々な地域から幅広い団体が参加し、田植え・稲刈り体験を実施した。
- ・ 生きもの観察会の実施(約 120 名参加)
子どもから大人まで一緒になって水路を泳ぐ魚を探し、観察会を実施した。

6. プロジェクト 「野洲の里山の自然に触れよう、知ろう」 「山の木を活用し、市民の手で野洲の山を守ろう」

① 里山・林道の保全作業の実施（22 回実施 延べ 235 人参加）

地元生産森林組合と連携し、定期的（毎月第 1 土曜日・第 3 火曜日）、また必要に応じ臨時の里山保全活動を実施した。また生産森林組合の管理地の一部を「山部会の森」として、子どもたちを対象とした学習・自然体験のフィールドとして整備・活用している。保全作業の主な内容は以下のとおり。

- 林道整備（草刈り、溝整備、臨時の溝蓋復旧）
- 伐採した雑木のチップ化
- 植林、枝打ち、下草刈り
- 登山道の整備・復元
- 登山道への案内板（道標、レスキュー杭）の整備・点検

② 子どもや市民が里山に親しむ活動（4 回実施 延べ 273 人参加）

里山の歴史や自然、山の大切さなど、里山の重要性について理解を深めてもらう啓発イベントを開催した。特に今年度は、鏡山周辺の自然探索と「まち・くらし部会」の人形劇を林の中で共に行う試みをした。篠原小学校の全校児童「伊勢道峠越え」案内は、3 年目の実施となった。

- 「タムシバ山から城山 花登山」 … 平成 24 年 4 月 8 日 41 人参加
一般市民対象
- 「篠原小学校縦割り授業」 … 平成 24 年 5 月 9 日 191 人参加
小学生・教師対象
- 「山を知る探索とまち・くらし部会とのコラボレーション」
… 平成 24 年 8 月 21 日 25 人参加
まち・くらし部会との共催
- 「城山から初日の出を見る」 … 平成 24 年 1 月 1 日 16 人参加
小堤生産森林組合主催

③ 「森づくり塾」を開講（平成 24 年 5 月 13 日、6 月 10 日、11 月 10 日、12 月 9 日 4 回連続講座 延べ 87 名参加）

山部会で活動する人を増やし、山の保全活動の活性化を図っていくため、山作業の基礎的な知識や里山の歴史などを学んだ。

- 里山の現状、間伐方法の実習
- 里山でのけがの応急処置
- 里山の歴史学習（山の境界争いの場所探索）

1. プロジェクト 「みんなで進める環境学習」

① 環境学習会の実施

市民団体や子どもを対象とした環境学習を実施した。温暖化学習では、温暖化防止クイズや地球温暖化防止啓発DVD鑑賞を実施した。

また出前講座のリサイクルペーパーアートは好評で、古紙を利用し環境意識を高める啓発となった。

- 温暖化学習 三上ふれあいサロン (平成24年7月23日約20名参加)
コミセンぎおう (平成24年7月11日約20名参加)
- リサイクルペーパーアート 市内自治会館、図書館等
(平成24年6月～平成25年2月合計8回約140名参加)

2. プロジェクト 「てんぷら油を捨てずにエネルギー(BDF)化しよう」

① 使用済み(期限切れ)てんぷら油の回収

昨年同様、市民団体エコロジーマーケットやすの会と連携し、毎月第4土曜日に使用済みてんぷら油の回収を実施した。

- 回収量(合計5,105リットル)

エコロジーマーケットやすの会	1,475リットル
野洲市回収BOX(市内12箇所)	3,630リットル

② エコキャンドルづくり講座の実施 (13回実施 約300名参加)

使用済みてんぷら油の回収、資源化を啓発するため楽しく学べる講座をふれあいサロンなどで実施した。

3. プロジェクト 「お得で楽しいリユースステーションをつくろう」

① リユースセンターでの譲渡会実施

リユースを行政と連携し実施した。より効率的な運営方法について協議し、陳列棚等の整備を行った。また譲渡会の周知については、ポスターを作成し、より多くの方にお越しいただけるようにした。

- 5月26日 譲渡会の実績 (平成24年5月26日28人参加)
ダンスやテーブルなど大型品18点、食器類など小物品多数。
- 12月1日 譲渡会の実績 (平成25年12月1日20人参加)
抽選品47点中12点を譲渡できた。

4. プロジェクト 「『こんなエコな店があるよ』ガイドブック作成事業」

① グリーン購入学習会 （平成 24 年 12 月 13 日約 30 名）

小売業における環境配慮の取り組みを周知啓発することを目的に実施し、また環境
こだわり農産物を推進する上で、農家の苦労を消費者が知り、購買によって応援す
ることの重要性を啓発した。

講師に成田賀寿代氏（こだわり滋賀ネットワークスーパーバイザー）をむかえ、参
加者には十分濃い内容に満足いただけた。

1. プロジェクト 「ごみを出さない売り方・買い方が広がるまち」

① ごみを減らそう出前講座の実施

自治会や市民団体を対象に、買いものごみ減量をテーマとした楽しく、分かりやすい出前講座を実施した。また千葉県幕張での市町村アカデミー出講において、環境大臣表彰に伴うプロジェクトの取り組みについて講演をした。

・平成 24 年度 出前講座及びキャンペーン 実績一覧

実施日	団体名	参加者	内容
平成 24 年 5 月 16 日	全国市町村 アカデミー	市町村職員	ごみを減らそう P J 活動状況について出講
6 月 2 日	守山カナリヤ こども園	園児・保護者 220 名	ごみのお話し エコダンス
8 月 21 日	山部会との イベント	16 名	人形劇・エコダンス
10 月 10 日	祇王小学校	4 年生 99 名	人形劇・エコダンス ごみ分別について
10 月 30 日	市内 4 店舗	買い物客	マイバック啓発
平成 25 年 2 月 22 日	魚忠	〃	レジ袋無料配布中止 啓発キャンペーン
2 月 27 日	市内 4 店舗	〃	〃

② 先進地への視察

岐阜県大垣市での先進事例視察として、レジ袋有料化のその後の状況や、植樹活動、ダンボールコンポストなどについて学習した。(平成 24 年 4 月 10 日 6 人参加)

③ 協定

滋賀県庁公館において、18 市町、24 業者、12 市民団体とで「レジ袋削減の取り組みに関する協定」締結式に参加し、本協定を結んだ。

「つながり」再生プロジェクト 事業報告

1. プロジェクト 「山・川・里・湖の『つながり』再生プロジェクト」

野洲市農林漁業活性化推進協議会に参画し、県の「新しい公共支援事業」において、農林漁業の活性化と生態回廊の再生に取り組んでいる。

① えこっちシールキャンペーンの展開

昨年度から、環境保全活動（エコな活動）と地産地消を結びつけ、地域の自然環境と密接なつながりを持つ第一次産業への関心を高める為にキャンペーンを実施した。



② 収穫祭の開催（平成 24 年 11 月 18 日約 800 名参加）

つながり再生プロジェクトの企画イベントとして、収穫祭を開催し、山・川・里・湖の地産地消を図った。

また環境保全活動に参加するともらえる上記の「えこっちシール」を 5 枚集めた方には、先着で山・川・里・湖の地産品をプレゼントし、大変好評を得た。

（えこっちシール回収数は 278 枚）

第3号議案

平成24年度 収支決算報告

(収入)

単位:円

科 目	当初 予算額	補正 予算額	予算額	決算額	差引き	備 考
会 費	120,500	0	120,500	122,500	2,000	個人 97 過年度分:2 市民団体 21 自治会 19 過年度分:3 企業 15
補助金	1,561,000	0	1,561,000	1,561,000	0	野洲市 (環境基本計画推進事業補助金)
受託金	2,336,000	△ 999,000	1,337,000	1,337,000	0	野洲市 (家棟川水系生態回廊再生事業)
寄付金	85,000	0	85,000	70,300	△14,700	財団法人 野洲市文化スポーツ振興事業団 (エコフリーマーケット出店者)
繰越金	190,000	0	190,000	190,848	848	前年度繰越金
雑入	1,000	0	1,000	6,809	5,809	預金利子 出前講座 材料負担金
合 計	4,293,500	△ 999,000	3,294,500	3,288,457	△6,043	

(支出)

単位:円

科 目	当初 予算額	補正 予算額	予算額	決算額	差引き	備 考
事業費	1,562,000	0	1,562,000	1,425,064	△136,936	自然部会 1,058,620 円 エコ資源部会 202,669 円 まち・くらし部会 158,234 円 緑のカーテン 5,541 円
受託事業	2,336,000	△ 999,000	1,337,000	1,337,000	0	人件費 936,274 円 物件費 400,726 円
事務費	345,000	0	345,000	179,141	△165,859	消耗品費等 97,976 円 備品購入費 81,165 円
予備費	50,500	0	50,500	0	△50,500	
合 計	4,293,500	△ 999,000	3,294,500	2,941,205	△353,295	

平成24年度 収支決算の結果

収入決算額 3,288,457 円

支出決算額 2,941,205 円

収支差引き額 347,252 円

収支決算による差引き額 347,252 円は、平成25年度に繰越しするものとする。

平成 24 年度 環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」

会計監査報告

監査結果

平成 24 年度環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」の収支決算について監査を行った結果、帳簿の記載および領収書等の関係書類はいずれも適正に処理され、決算金額は正確であったので報告します。

平成 25 年 4 月 22 日

平成 25 年 4 月 22 日

監 事

中塚 勝 

監 事

橋本 弥彦雄 

平成 25 年度 事業計画（案）

各部会の活動方針

これまでの活動を継続して行っていく中で、関係団体・組織との連携や活動の積極的な情報発信を通じて、プロジェクトの組織拡充と活動の成果をめざす。

また、行政とともに環境基本計画の中間見直しを実施しており、計画後期においてより市民が参加できる仕組みの構築を検討していく。

自然部会は、県のマザーレイク 21 計画（第 2 期）とも連携を図り、里山から川、緑地、田畑、そしてびわ湖までの一連の自然環境の保全をめざした活動を展開することで、多くの市民に対してプロジェクトの趣旨を普及啓発するとともに、自然環境を軸とした地元産業の活性化をめざす。

エコ資源部会は、環境負荷の少ない循環型社会の構築に向けた仕組みづくりを行うため、市民が楽しみながら参加できるプロジェクトの実践を進める。出前講座やリユースなど、資源の有効活用における啓発活動に力を入れていく。

まち・くらし部会は、小学校や各公共施設などに出向き出前講座を充実させ、環境への意識高揚や啓発活動を行っていく。また会員自身の資質向上のため、各種学習会や視察研修を実施し、学んだことを今後の活動にフィードバックしていく。

自然分野 事業計画

1. プロジェクト 『おらが川』 人が親しめるきれいな川づくり

- ① 家棟川エコ遊覧（櫓漕ぎ体験、自然観察学習船）の運航（4月～10月予定）
- ② ホタルの住める川づくり
- ③ 里山・森・川・田畑・びわ湖の「水」フォーラムの開催（6月30日）
- ④ 河川清掃活動（年間5～6回）
- ⑤ 生態回廊の再生を目指す生態調査

2. プロジェクト 「野洲の里山の自然に触れよう、知ろう」

「山の木を活用し、市民の手で野洲の山を守ろう」

- ① 山作業 第1土曜日（定例山作業） 第3火曜日（平日山作業）
第4土曜日（野洲の山を知る探索）
- ② 第3期「森づくり塾」の開催
 - i 滋賀県森林センター「県民講座」 ii 基礎から学ぶ山登り
 - iii 里山の自然に親しむ iv 里山の歴史、古墳探索
- ③ 山を知る市民対象のイベント
 - 春：4月7日 春のタムシバ山 花登山
 - 夏：子ども向け「里山の自然の中で冒険する」イベント
 - 秋：里山で「秋の実りを楽しむ」イベント
 - 5月に恒例の「篠原小学校の縦割り授業」で「伊勢道峠越え」案内
- ④ ほかのプロジェクトや団体との共同活動を進める

3. プロジェクト 「びわ湖を身近なものにしよう」

- ① 家棟川エコ遊覧、湖魚食の試食、砂浜学習の開催
- ② あやめ浜まつりの開催（8月予定）
- ③ びわ湖の水源地となる里山への植樹活動（冬予定）

4. プロジェクト 「ヨシ地帯をみんなで増やそう」

- ① 中主小学校でのヨシ苗の栽培などを通じた環境学習の実施（6月予定）
- ② 市民参加によるヨシ群落の保全を実施（冬予定）
- ③ 県の自然再生事業と連携し、ヨシ群落再生の工法などを検討

5. プロジェクト 「まちなかの緑ボリュームアップ大作戦」
「河畔林の再生」「鎮守の森再生」

- ① 野洲川河辺林（自然林）の保護育成
- ② 市内の緑化推進、啓発
- ③ 樹木の管理講習会の実施

5. プロジェクト 「環境保全型農業推進計画」

- ① 水田米の普及啓発
- ② 魚のゆりかご水田事業の啓発

1. プロジェクト 「みんなで進める環境学習」 「生ごみ資源化システムづくり」
「天ぷら油を捨てずにエネルギー（BDF）化しよう」

- ① 市民を対象とした環境学習会を実施
 - 古紙を使った「リサイクルペーパーアート」
 - 廃食油を使った「エコキャンドルづくり」
 - DVD やクイズを使った「温暖化防止学習」
 - 家庭で手軽にできる「生ごみ堆肥化」
- ② 間伐材利用エネルギー研究

2. プロジェクト 「天ぷら油を捨てずにエネルギー（BDF）化しよう」

- ① 参加しやすい回収方法の検討
- ② 廃食油のリサイクルを楽しむ・使う方法を紹介し、啓発を行う。

3. プロジェクト 「お得で楽しいリユースステーションをつくろう」

- ① 広報やチラシ・ポスター等で展示譲渡会への参加を呼びかける
- ② リユースセンターの整備を進め、展示譲渡会の充実を図る。
- ③ 自転車やおもちゃなどの整備の応援要員の募集とリユース展示品目の拡大を検討する。

まち・くらし分野 事業計画

1. プロジェクト 「ごみを出さない売り方・買い方が広がるまち」

- ① ごみを減らそう出前講座の実施、拡充
- ② 市内環境啓発キャンペーンの実施
- ③ 3R（ごみの発生抑制、再使用、リサイクル）の啓発
- ④ 地産地消、グリーン購入の啓発活動

2. プロジェクト 「一人ひとりが自動車社会を見直す『エコドライブ』活動」

- ① エコドライブ講習会の開催
- ② エコドライブ活動モデル事業所の募集

3. プロジェクト 「環境教育推進活動」「事業所環境保全推進事業」

- ① 環境に関する先進地や事例についての視察研修等

「つながり」再生プロジェクト 事業計画

1. プロジェクト 「山・川・里・湖の『つながり』再生プロジェクト」

- ① つながりイベントの開催（収穫祭）

第 5 号議案

平成 25 年度 予算（案）

（収入）

単位:円

科 目	平成25年度 当初予算額	前年度 当初予算額	差引き	備 考
会 費	127,000	120,500	6,500	個人 @500× 106人 市民団体 @1,000× 22団体 自治会 @1,000× 20団体 企業 @2,000× 16社
補助金	1,711,000	1,561,000	150,000	野洲市 （環境基本計画推進事業補助金）
受託金	0	2,336,000	△2,336,000	
寄付金	0	85,000	△85,000	
繰越金	347,252	190,000	157,252	前年度繰越金
雑入	6,000	1,000	5,000	預金利子
合 計	2,191,252	4,293,500	△2,102,248	

（支出）

単位:円

科 目	平成25年度 当初予算額	前年度 当初予算額	差引き	備 考
事業費	1,712,000	1,562,000	150,000	自然部会 1,000,000 円 エコ資源部会 322,000 円 まち・くらし部会 380,000 円 緑のカーテン 10,000 円
受託事業	0	2,336,000	△2,336,000	
事務費	450,000	345,000	105,000	通信運搬費 120,000 円 消耗品費 330,000 円
予備費	29,252	50,500	△21,248	
合 計	2,191,252	4,293,500	△2,102,248	

報告事案

☆愛称の募集について

野洲市環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」に、より親しみをもってもらうべく、また環境基本計画関連の活動を統一的に発信するべく愛称を募集したところ、300を超える応募があり、『えこっち・やす』と決定されたのでご報告します。